

# *Shakespeare Newsletter*

日本シェイクスピア協会会報

2014 No.1

(通巻 Vol. 54 No.1)

# Shakespeare Newsletter

日本シェイクスピア協会会報

2014 No.1  
(通巻 Vol. 54 No.1)

## 目次

2014年度を迎えて(会長挨拶)	1
2014年度シェイクスピア祭報告	2
第53回シェイクスピア学会のお知らせ	2
第54回シェイクスピア学会セミナーテーマ募集のお知らせ	2
2014年度委員選挙のお知らせ	3
ホームページ掲載内容のお知らせ	3
国際交流フェローシップ募集のお知らせ	3
55周年記念論文集募集のお知らせ	4
<i>Shakespeare Studies: the 400<sup>th</sup> anniversary special issue</i> のお知らせ	5
日本シェイクスピア協会事業運営へのご寄附について	6
2013年度決算報告・2014年度予算	6
2013年度シェイクスピア基金会計報告・2013年度日本シェイクスピア協会 国際交流資金会計報告・2013年度国際交流フェローシップ会計報告	7
日本シェイクスピア協会賛助会員名簿	7
NOTICE BOARD	8

## 2014 年度を迎えて

中野春夫

本年度より協会会報 *Shakespeare Newsletter* (年 2 回、8 月・3 月発行予定) と学術雑誌 *Shakespeare Journal* (年 1 回、3 月発行予定) をお手元にお届けすることになります。新たな会報では日本シェイクスピア協会の企画や事業、予算等についてご報告、もしくはお諮りさせていただきます。*Shakespeare News* の特集企画や論文、劇評、書評は引き続き *Shakespeare Journal* がより充実した内容で掲載しますので、どうぞご期待ください。

まずは 4 月 19 日に学習院大学で開催されました総会およびシェイクスピア祭についてご報告申し上げます。総会では 2014 年度予算案等、活動・事業関連の審議事項がすべて承認されました。議長として総会をお導きくださった高村忠明先生に厚く御礼申し上げます。

本年度のシェイクスピア祭第一部は劇団山の手事情社主宰の安田雅弘氏をゲストにお迎えした対談で、野田学先生のご司会のもと、ゲスト・スピーカーの浜名恵美先生を交え、シェイクスピア劇の公演を国内外で精力的になさってきた安田氏ならではの貴重なお話を伺うことができました。後半の第二部は浜名恵美先生のご講演で、シェイクスピア劇に映し出される同時代の多言語性・多文化性を鮮やかに蘇らせながら、現代社会における横断的で刺激的なシェイクスピア受容の可能性をご提示いただきました。当日のあいにくの悪天候にもかかわらず本年度も 200 名を超える方々にご参加いただけました。安田先生、浜名先生、野田先生、準備作業に携わってくださった関係者の方々に心より御礼申し上げます。

次は没後 400 周年を兼ねた日本シェイクスピア協会設立 55 周年記念企画についてです。前回の巻頭言でお知らせしたとおり、2016 年度に日本語版の設立 55 周年記念論文集を刊行するとともに、*Shakespeare Studies* を没後 400 周年特別号として拡大版にいたします。日本語版に関しましては、一般愛好家にも広く開かれた協会という設立以来の趣旨を酌み、研究者以外の一般読者層も視野に入れてシェイクスピア劇の主要作品を対象とする企画にいたしました。日本語版と英語版いずれの応募要項もこの会報に掲載されていますので、お目通しのうえ、ふるってご応募ください。

これも会員の皆様の大きな関心事と思いますので、現時点での当協会の財政について簡単にご報告させていただきます。編集、印刷、郵送の過程で生じる作業について、私たち日本シェイクスピア協会は経費削減の観点から多くの業務を会員および事務局の奉仕で賅ってきました。その結果、現委員会の任期中には年会費の値上げは行わずに済みました。また当面、二つの条件が満たされれば年会費を据え置くことができます。一つは現時点でおよそ 600 名の会員数が激減しないことであり、潜在的に当協会が抱える最大の課題は一人でも多く若い世代に入会していただくことです。現会員にとってより魅力的な協会となるよう工夫するとともに、根気のいる活動になりますが、学生・一般愛好家も含めてできるだけ多くの方々にシェイクスピアの魅力を伝えることが、本協会にとってますます重要な責務になるかと思えます。

もう一つは今後も毎年ある程度の寄付金が見込めることです。財政の健全化もしくはリスク管理という観点から懐疑的なご意見は当然あるかとは思いますが、ここ数年ほど毎年 20 万から 40 万円のご寄付をいただき、このご厚意によってかろうじて赤字を免れてきたのが実情です。*Shakespeare Studies* の拡大号とともに日本語論集の出版という創立 55 周年記念事業にはそれなりの支出が必要となりますので、本年度および来年度にご寄付いただいたものにつきましては、その使途を記念事業関連の支出に目的を限定することにいたします。この趣旨をどうかご理解の上、55 周年記念事業がより充実したものとなるよう、皆様からの積極的なご支援をお願いする次第です。ご寄付の手続きの詳細については HP をご参照いただくか、あるいは事務局にお問い合わせください。

最後に本年度は委員選挙の年になります。委員候補者推薦会議の皆様のご尽力により現時点で推薦作業は滞りなく進んでいますので、秋に行われる選挙のさいはぜひご投票をよろしくお願いいたします。私たち現委員も次の委員会体制へ無事引継ぎができるよう力を合わせて業務に取り組んでいきますので、なにとぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 2014年度 シェイクスピア祭報告

2014年度シェイクスピア祭を、日本英文学会共催で4月19日(土)午後1時より、学習院大学(東京都豊島区目白)西5号館B1講義室にて開催いたしました。

野田委員の司会により、中野会長の挨拶の後、第1部:安田雅弘氏(演出家・劇団山の手事情社主宰)、聞き手、野田学氏(明治大学教授)、ゲスト・スピーカー、浜名恵美氏(筑波大学教授)による対談「《四疊半》演劇で切り取るシェイクスピア」が行われました。続いて第2部:浜名恵美氏による講演「シェイクスピアの面白さ——超言語的想像力、超言語的实践に注目すると——」が行われ、日本英文学会理事、原田範行氏の閉会の辞をもって盛況の裡に閉会いたしました。

なお、2014年度シェイクスピア祭の詳細は当協会ホームページに掲載しております。

### 第53回シェイクスピア学会

2014年10月11日(土)・12日(日)

学習院大学にて開催

### 第54回シェイクスピア学会セミナーテーマ募集のお知らせ

第54回シェイクスピア学会は、2015年10月10日(土)、11日(日)に開催予定です。会場は北海道教育大学函館校(北海道函館市)の予定ですが、確定次第、*Shakespeare Newsletter* およびホームページでお知らせいたします。

第54回シェイクスピア学会でのセミナーのテーマを下記のように募集いたします。ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。

#### 応募要項

1. 次の(A)、(B)について(片方でも可)、EメールまたはFAXを用いて、「日本シェイクスピア協会事務局」あてにご応募ください。学会開催時に配布するアンケート用紙を郵送していただいても結構です。

- (A) セミナーで取り上げて欲しいテーマ  
(コーディネイター名も、もしあればお書きください)
- (B) ご自分で企画・運営したいセミナーとそのテーマ

2. 締切は2014年10月31日(金)、当日必着です。
3. ご提案を含めて委員会で検討のうえ、セミナーを複数設定いたします。
4. セミナーの内容・セミナーメンバー募集については、2015年3月までに *Shakespeare Newsletter* やホームページでご案内いたします。
5. 送信および送付先は以下のとおりです。

① Eメール: [ssj-submission@nifty.com](mailto:ssj-submission@nifty.com)  
(標題に「2015セミナーテーマ案」と記してください)

② FAX: 03-3260-8109

③ 郵送: 〒162-0825 新宿区神楽坂1-2 研究社英語センタービル3F  
日本シェイクスピア協会事務局

## 2014 年度委員選挙のお知らせ

委員候補者推薦会議  
岡本靖正(議長)  
佐藤達郎  
西出良郎  
冬木ひろみ

既にお知らせしております通り、本年 10 月から 11 月にかけて委員選挙が行われます。今回の委員選挙に係わる業務は「委員選挙に関する内規」に従い、委員候補者推薦会議が協会事務局の協力を得て実施いたします。

先般 3 月に委員候補の推薦をお願いいたしましたが、その後、6 月 28 日の会議を経て、13 名の候補者が確定いたしました。候補者名簿、選挙方法などの詳細は、10 月 3 日に発送する「投票要領」をご参照ください。

なお、[投票用ハガキ (=投票用紙)]は、2014 年度年会費を 10 月 1 日までにお納めいただいた会員に 1 枚ずつ配布いたします。「投票要領」に同封して 10 月 3 日に送付いたしますが、10 月 1 日までに会費納入済みにもかかわらず、10 月 10 日を過ぎてても [投票用ハガキ]が届かなかった場合は、至急、事務局までご一報ください。

## ホームページ掲載内容に関するお知らせ

2013 年度より、以下の内容は原則としてホームページにのみ掲載し、ご要望があった場合は随時、コピーをとってお送りいたしております。

規約全文、シェイクスピア祭報告詳細、学会セミナー報告、ワークショップ報告、国際交流フェロシップ応募要項、*Shakespeare Studies* 投稿規程、*Shakespeare Journal* 投稿規程。以上

## 国際交流フェロシップ募集のお知らせ

審査時期は 4 月、10 月の年 2 回ですが、規定どおり参加を予定している学会の開催日より 2 ヶ月前以前の応募であれば、審査の対象となり、さかのぼっての支給となる場合もあります。ふるってご応募ください。応募要件その他の詳細は本協会のホームページをご覧ください。

## 55周年記念論文集募集のお知らせ

日本シェイクスピア協会では、協会創立 55 周年ならびにシェイクスピア没後 400 周年を記念して、日本語による記念論文集の刊行を決定し、広く会員の皆様の論文を募集することとなりました。以下の応募要領にしたがって、ふるってご応募ください。

論文集の内容：シェイクスピア作品論（応募要項 1 にあげた作品に限る。正式のタイトルは刊行時に決定。）  
 出版社：研究社  
 応募締め切り：2015 年 9 月 15 日  
 刊行予定：2016 年 10 月

### 応募要項

1. 下記にあげたシェイクスピアの作品を一つとりあげ、その作品を中心に論じること。研究方法に関しては制限を加えない。(7)と(8)は、合わせて一つの作品として論じても構わない。
  - 喜劇： (1) *A Midsummer Night's Dream* (2) *The Merchant of Venice*  
 (3) *As You Like It* (4) *Twelfth Night* (5) *All's Well That Ends Well*
  - 歴史劇： (6) *Richard III* (7) *Henry IV, Part I* (8) *Henry IV, Part II* (9) *Henry V*
  - 悲劇： (10) *Romeo and Juliet* (11) *Julius Caesar* (12) *Hamlet* (13) *Othello*  
 (14) *King Lear* (15) *Macbeth*
  - ロマンス劇： (16) *The Tempest*
  - 詩： (17) *Sonnets*
2. 応募論文は和文で書かれ、未発表のものであること。ただし、口頭のみですでに発表されているものは、その旨明記されていれば審査対象となる。
3. 無記名審査を行なうため、論文には応募者の名前を記さずに、論文標題と本文、および注という体裁とすること。
4. 論文は、注を含めて 14,000 字以内で、ワープロで作成し、A4 版用紙（横置き）に縦書き 40 字× 25 行で印字すること。
5. 注は論文末尾にまとめてつけること。小見出しをつけること。小見出し、表記方法、注の形式、引用の仕方など論文の書式に関しては 50 周年記念論文集『シェイクスピアと演劇文化』（日本シェイクスピア協会編、2012 年）を参照すること。
6. 上記要領で作成された論文のハードコピー 5 部に、応募者氏名、論文標題、所属、現住所、電子メールアドレス、必要な場合には口頭発表に関する注記を記した別紙のカバーレターを添えて事務局に郵送すること。
7. 原稿は返却しない。
8. 論文の採否は委員会が決定し、採否は追って通知する。
9. 採用された論文については、委員会が印刷用に WORD(.doc, .docx)、またはリッチテキスト形式(.rtf)の電子ファイルの提出を求めることになる。

以上

## *Shakespeare Studies: the 400<sup>th</sup> anniversary special issue*のお知らせ

2016年は1616年に亡くなった劇作家の没後400年を記念する年となります。2016年春に発行予定の*Shakespeare Studies*は、これを記念する特別号を予定しており、劇作家であり詩人であったシェイクスピアの作品に関する論文を募集いたします。特別号への投稿締め切りは、2015年9月30日です。

April 23, 2016 will mark the 400<sup>th</sup> anniversary of the playwright's death in 1616. We are seeking essays on all aspects of Shakespeare's work for a special issue of *Shakespeare Studies* which will appear in spring 2016. To be considered for publication in this issue, all essays must be received by 30 September 2015.

### 〈*Shakespeare Studies: the 400<sup>th</sup> anniversary special issue* 投稿規程〉

1. 投稿論文(研究論文)は未発表のもので、他の雑誌に掲載される予定がないものであること。ただし、すでに口頭で発表し、その旨を注に明記している場合には、審査の対象となる。
2. 研究論文は、英文で**6,000 words**程度の長さであること(注は、これに含まない)。注は、脚注とする。投稿者の名前、謝辞等は論文そのものには記さず、カバーレターに記すこと。採用された場合は、謝辞は注の冒頭に置かれる。カバーレターには、原稿のタイトル、氏名[ふり仮名つき]、現在の所属、連絡用の住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを明記すること。
3. 投稿論文は電子メールで提出すること。WORDファイル形式(.doc, .docx)、あるいはリッチテキスト形式(.rtf)で作成・保存し、添付ファイルで日本シェイクスピア協会の提出用アドレス [ssj-submission@nifty.com](mailto:ssj-submission@nifty.com) まで送信すること。受領確認後、事務局から受領確認メールを送る。提出後7日以内にそれが届かない場合、投稿論文が事務局に届いていない可能性があるので必ず再送信すること(ただし、8月、年末年始の事務局休暇期間は休暇明けに受領通知を送る)。
4. 書式上の注意については協会HPの'*Style Sheet for Shakespeare Studies*'を参照すること。
5. 応募論文の採否は、編集委員会が決定する。採用論文の掲載に先立ち、編集委員会は書き直しを求めることがある。
6. 校正は、原則として初校に限り、執筆者が行なうこととする。この際、加筆・訂正は表記および事実の誤りに関するもののみとし、それ以外は認めない。
7. 英語を母語としない投稿者は事前に必ず、英語を母語とする人によるチェックを受けること。
8. 論文中に掲載される図表や写真その他の掲載資料は、採用が決定した際には投稿者自身が著作権者の許可を受けた上で慎重に引用すること。
9. 掲載された研究論文の著作権は、日本シェイクスピア協会に属するものとする。

以上

## 日本シェイクスピア協会事業運営へのご寄附について

日本シェイクスピア協会委員会では、学会開催、*Shakespeare Studies* や *Shakespeare Journal* の刊行などといった協会の事業運営へのご寄附をお願いしております。

平成 26 年 2 月 15 日から 7 月 31 日までに皆様からお寄せいただいたご寄附の総額は、168,000 円となりました。ご寄附いただいた方々のお名前をここに報告させていただき、皆様のご理解とご協力に対して心より御礼申しあげます。

寄附者名簿(50 音順)

安達まみ様、上野美子様、勝山貴様、楠明子様、金子雄司様、住本規子様、原英一様、山田昭廣様、Prof. Mihoko SUZUKI、匿名希望 1 名 (以上 10 名)

### 2013 年度決算報告 (2014.3.31)

#### 【収入の部】

繰越	¥	3,930,109
会費		4,652,590
寄附		320,000
雑収入		92,961
(2013 年度収入計)		5,065,551 )
.....		
	¥	8,995,660

#### 【支出の部】

寄附関連	¥	840
<i>Shakespeare Studies</i>		313,595
(発送料金含む)		
<i>Shakespeare News</i>		619,579
(発送料金含む)		
シェイクスピア祭		41,361
シェイクスピア学会		462,524
(小委交通費含む)		
委員会費		1,155
事務局経費		685,266
(PC 積立金等含む)		
HP 運営・管理費		54,620
事務局人件費		1,334,438
一般印刷費		89,887
通信郵送費		232,359
交通費		198,190
委員選挙引当金		150,000
(『簡易会員名簿』作成費含む)		
消耗品費		159,995
予備費		0
(2013 年度支出計)		4,343,809 )
繰越		4,651,851
.....		
	¥	8,995,660

### 2014 年度 予算

#### 【収入の部】

繰越	¥	4,651,851
会費		4,650,000
雑収入		50,000
(2014 年度収入計)		4,700,000 )
.....		
	¥	9,351,851

#### 【支出の部】

<i>Shakespeare Studies</i>	¥	450,000
(発送料金含む)		
<i>Shakespeare Journal</i>		450,000
(Newsletter・発送料金含む)		
シェイクスピア祭		240,000
シェイクスピア学会		420,000
(小委交通費含む)		
委員会費		2,500
事務局経費		695,000
(PC 積立金等含む)		
HP 運営・管理費		54,700
事務局人件費		1,335,000
一般印刷費		72,800
通信郵送費		200,000
交通費		415,000
委員選挙費		160,000
(2013 年度引当金を除く)		
消耗品費		155,000
予備費		50,000
(2014 年度支出計)		4,700,000 )
繰越		4,651,851
.....		
	¥	9,351,851



**2013 年度 シェイクスピア基金  
会計報告** (2014.3.31)

【収入の部】

繰越	¥	1,189,537
預金利息		235
.....		
	¥	1,189,772

【支出の部】 ¥ 1,310  
『50周年記念論文集』関係経費

2013 年度残高 ¥ 1,188,462

**2013 年度 日本シェイクスピア協会  
国際交流資金会計報告(国際交流  
フェローシップをのぞく)** (2014.3.31)

【収入の部】

繰越	¥	2,047,890
預金利息		88
.....		
	¥	2,047,978

【支出の部】 なし

2013 年度残高 ¥ 2,047,978

**2013 年度国際交流フェローシップ  
会計報告** (2014.3.31)

【収入の部】

繰越	¥	4,818,408
預金利息		766
.....		
	¥	4,819,174

【支出の部】 なし

2013 年度残高 ¥ 4,819,174

**日本シェイクスピア協会賛助会員名簿 (五十音順)**

あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)  
板橋演劇センター  
インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン (ITCL)  
エディション・シナプス  
オックスフォード大学出版局  
劇団 昂  
劇団 山の手事情社  
グローバル・リンケージ  
研究社  
Cambridge University Press Japan  
文学座

<b>NOTICE BOARD</b>
---------------------

◆ 2014年3月7日 *Shakespeare Studies* Vol. 51 が刊行された。

◆ 2014年3月31日 *Shakespeare News* Vol. 53 No.2 が刊行された。

◆ 2014年4月7日 2013年度会計監査。

◆ 2014年4月19日 第1回定例委員会を午前10時より学習院大学にて開催。議題は次の通り。1) 2013年度事業報告、2) 2013年度決算報告及び会計監査報告、3) 2013年度事業計画、4) 2014年度予算案、5) 2014年度委員会日程、その他。

◆ 2014年度委員業務分担及び監事その他は以下の通り（敬称略）。

（会長）中野春夫

（総務）由井哲哉[事務局長]、佐野隆弥  
[財務]、末廣幹[庶務]

（学会・ワークショップ）阿部曜子、石橋  
敬太郎、前原澄子、（佐野隆弥）

（*Shakespeare Studies*）太田一昭、勝山貴  
之、小町谷尚子、近藤弘幸

（*Shakespeare Journal*）岩田美喜、住本規  
子、南隆太、（末廣幹）

（行事）野田学

（ホームページ）小町谷尚子

（監事）荒木正純、川井万里子

（*Shakespeare Studies* / *Shakespeare Journal*  
組版）原英一

（*Shakespeare Newsletter*）事務局長、総務  
（組版）事務局

◆ 2014年度総会。4月19日正午より学習院大学にて開催。高村忠明氏を議長に選出したのち、以下の議題について、審議が行われ、委員会から提出された議案が承認された。1) 2013年度事業報告、2) 2013年度決算報告、3) 2014年度事業計画案、4) 2014年度予算案。

◆ 2014年度シェイクスピア祭。日本英文学会と共催で、同日午後1時より学習院大学西5号館B1教室にて開催。野田委員の司会により、中野春夫会長の挨拶の後、第1部として、安田雅弘氏（劇団山の手事情社主宰）と野田学氏（明治大学教授）、浜名恵美氏（筑波大学教授）による対談「〈四畳半〉演劇で切り取るシェイクスピア」を、第2部として浜名恵美氏による講演「シェイクスピアの面白さ—超言語的想像力、超言語的实践に注目する」とが行われた。日本英文学会理事原田範行氏の閉会の辞をもって盛況のうちに閉会。

◆ 2014年6月28日 2014年度委員選挙候補者推薦会議開催。13名の候補者が確定した。

◆ 2014年7月12日 第2回定例委員会を午後2時より学習院大学北2号館会議室にて開催。議題は次の通り。1) 第53回シェイクスピア学会（於学習院大学）について、2) *Shakespeare Studies*, *Shakespeare Journal* の刊行について、3) *Shakespeare Newsletter* の刊行について、4) シェイクスピア没後400周年記念の出版事業について、5) その他。

**SHAKESPEARE NEWSLETTER**  
日本シェイクスピア協会会報

2014 (通巻 Vol.54) No.1

2014年8月11日 発行

編集 日本シェイクスピア協会

発行人 中野春夫

発行所 東京都新宿区神楽坂 1-2  
研究社英語センタービル 3F

日本シェイクスピア協会

印刷 日本シェイクスピア協会

© 日本シェイクスピア協会 2014